

第4回報徳講演会（JA三階会議室／2月10日／講師は道生協連の山口専務理事）

■発行日/平成29年3月1日/No.1379号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

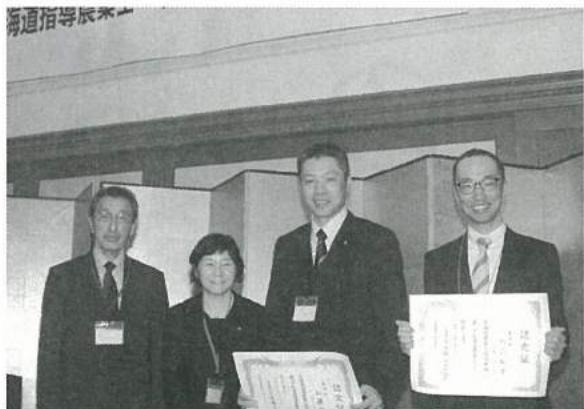
ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

加藤禎行さんが 北海道指導農業士の認定受ける

2月26日札幌市内のホテルにおいて、平成28年度北海道指導農業士・北海道農業士の新規認定者の称号贈呈式が行われ、美唄市豊葦町の加藤禎行さんが、北海道知事より北海道指導農業士として認定されました。

指導農業士の制度は昭和46年から始まり、これまでに810人余りの農業者が認定されています。当JA管内では平成14年度に認定を受けた吉村俊子（光珠内）さん以来となります。



加藤禎行さんと
吉村俊子会長（今回で顧問に勇退）

域農業振興などに対する助言、協力を行う優れた農業者の活動を支援することを目的として創設されたもので、経営実績が優れ、担い手の育成に強い熱意と指導性があり、地域のリーダーとしても活躍が期待される農業者を北海道知事が認定しています。

第12回（1月定例）理事会開催

1月26日開催の第12回（1月定期）理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1.理事に対する平成29年度クミカシ取引の貸越極度額等の設定について

2.理事が代表を務める法人の平成29年度クミカン取引の貸越極度額等の設定について

3.理事に対する資金の貸付について

4.平成29年度内部監査計画について

5.規程等の一部改正について

第1回（2月定期）理事会開催

2月22日開催の第1回（2月定期）理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1.平成28年度事業決算の結果および剰余金処分案について

2.地区別懇談会の開催について

3.平成29年度の理事に対する資金貸付方針について

4.信用限度を超えた資金の貸付について

◇協議事項◇

1.岩見沢市農業委員の推薦について

2月臨時理事会開催

2月28日開催の臨時理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1.平成29年度事業計画について

2.第69回通常総会議案について

「前もつて善因を積め」

翁のことばに、因果の理をこの柿の木で説明しよう。この実を見るがよい。人の食品となるか、鳥に食われるか、それとも落ちて腐るか、まだ将来がわからない。枝葉のかげにある時分の、精力の運びかたによつて、熟してから市場に出して売られるとき、三厘になつたり、五厘になつたり、あるいは一銭になつたりする。始めのうちは同じ柿で、熟するにしたがつてこの様に値打ちがまちまちになるのは、すべて過去、枝にあるときの精力の運びかたの因縁によるのだ。天地間の万物はみんなこれと同じで、ささやかにひそかに生育して、それから人に用いられて、その徳をあらわすのだ。人もまたその通りで、親の手もとにあるとき、身を修めて諸芸を学び、よく勉強したその徳によって、一生の生業が立たつのだ。凡人が、若いときに学べばよかつたと後悔心が出るのは、柿が市場に出た後で、いま少し精氣を運んで大きく甘くなればよかつたと思うのと同じで、後悔先に立たずというのだ。古人は「前に悔やめ」と教えていたが、若い者はよく考えねばならぬ。そこで、修行といいうものは、いるからいか、用に立つか立たぬかわからぬうちに、よく学んでおくべきだ。柿も、枝葉の間にあるときには大きくならなければ、市場に出でからしかたがないのと同じで、これが即ち因果の道理なのだ。

平成28年度 期末監事監査終わる

当JAの平成28年度期末の監査が2月15日から22日までの日程で、浅香代表監事、高田監事、佐々木員外監事により精力的に執行されました。監査の対象は平成28年度事業全般の業務執行結果及び事務処理結果の他、決算結果による財務諸表の適正等について検証・確認が行われました。最終日の22日には常勤理事の他に幹部職員に対して監査講評が行われました。

JA第69回通常総会は、3月22日午後1時30分からJA3階大会議室で開催する予定です。

平成28年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表の承認、平成29年度事業計画の設定、役員選任規程の一部改正、監事監査規程の一部改正、宅地等供給事業実施規程の一部改正、農賦課金の賦課及び徴収、役員報酬の支給、販売事業基盤強化積立金実施要領に基づく各助成事業の実施、土地改良事業の実施、出資

監査報告

増口の実施等に係る議案等を提出し承認を求めるとしています。

開催日が近くなりましたら総会招集通知を送付しますので組合員の皆さまには都合を繰り合わせてご出席下さいますようお願い致します。

農協地区別懇談会を開催します

3月8日から4日間7会場

本年度の地区別懇談会は3月8日から開催します。

この懇談会は例年同様に午前と午後に開催地区を分けて全7会場で開催しますので、最寄の会場へご出席下さいますようお願い致します。多数のご出席をお待ちしています。

この日に仕込んだ味噌は今年の10月頃に食卓に出るということでした。

それぞれ自宅で煮た大豆を持ち寄り麹と混ぜた後に豆ミンサーで

J A 女性部大豆サークルが 味噌作り

2月14日、JA女性部大豆サークルの皆さん11人が、峰延福祉会館の厨房を借りて本年の味噌作りを行いました。同サークルの味噌作りは20年近く続いている、峰延産大豆を使い1年分の自家用の味噌を手作りするのが、この時期の恒例です。

この日に仕込んだ味噌は今年の10月頃に食卓に出るということでした。最後に塩をふり、旨味の決め手となる根昆布を大豆ミンチに刺して仕込み完了です。

参加者は、手作り味噌には市販品と違つて無添加で子供や孫たちにも安心して食べさせられ、味も自分たちの好みで作ることができ、大豆の甘味が感じられコクのあるまろやかな味に仕上がるのが自家製ならではの楽しみと話していました。



大豆と麹を混せます



豆ミンサーでミンチ状にします

ミンチ状にし、空気が入らないように叩きつけこぶしで押しながら容器に入れ、大豆の栄養と旨みがたっぷりの煮汁を加えて味噌の固さを調整し、カビ対策の唐辛子を入れていました。最後に塩をふり、旨味の決め手となる根昆布を大豆ミンチに

第4回報徳講演会開催する

2月10日、当JA三階会議室で

第4回報徳講演会を開催しました。

講師は、北海道生活協同組合連

合会の山口敏文専務理事でテーマ

は「安心して暮らせる地域社会作

りと協働組合の役割」。山口専務

理事は豊頃町生まれで120ha経

営する農家の出身で従兄弟はJA

豊頃町組合長の山口良一さんと自

己紹介。帯広畜産大草地別科(2

年)卒業後、室蘭工大生協に就職、

その後帯広畜産大生協に移籍し専

務理事、道央市民生協に移籍、帯

広市民生協(コード十勝)に移籍

し専務理事、コープさっぽろに移

籍し専務理事、現在は北海道生協

連に移籍し専務理事を務め、生協

勤務45年で6ヶ所の生協を移籍し

た経歴の持ち主です。

豊頃町は、明治時代に二宮尊徳の孫の尊親が入植し開拓した地で現在も報徳が盛ん、また平成24年にJAみねのぶ生活店舗の食品の一部供給と店舗運営ノウハウを提供するフランチャイズ方式で成功した経過があり、縁を感じて講師の依頼は快く引き受けた。

協同組合を取り巻く情勢変化で



熱が入り上着を脱いで話す山口専務理事

は、暮らしに関する情勢は所得と支出が更に減少し暮らしは厳しく家計消費は9ヶ月連續でマイナス。国民負担が増加している。消費税の増税は平成31年10月に延期。

事業・経営に関わる情勢では、小売情勢の変化、ITの進化、深刻な人手不足、加工食品の国産表示に変更等がある。

安心して暮らせる地域社会づくりの取り組みでは、人と人をつなぐ事業の輪で宅配トドックが33万人に事業高752億円と好調で店舗事業の赤字を補つている。移動販売車おまかせ便カケルは78台で

125市町村をカバー23000人が利用し売れ筋商品は、夏はアイスクリーム、冬は仏花で売上の70%は生鮮品となつていて。配食サービスは4万人が登録し週3万食、幼稚園63園の利用がある。人と食をつなぐ輪で食の大切さを楽しく体験しながら学ぶイベント、子ども達の食の現場の仕事体験、地産地消メニューを人気シェフが作る「畑のレストラン」など多くのイベントを開催している。人と未来をつなぐ輪では、未来の森づくりプロジェクトの開催、子育て世代の1歳2歳児に絵本4冊を無料で届けでは6年間で42000人、23万冊配付した。コードバンク事業は宅配の返品商品と取引先企業の商品を全道の児童養護施設に提供しフードロスを無くしている。買い物袋の有料化にいち早く取り組み行政も巻き込む社会運動に発展していく、年間の袋代2億3千万円をカットできた。

北海道生協連の取り組みでは、安心して暮らせる地域づくりに向けて料金の地域格差が大きいLPガスを取り上げ道消費者協会等に要請した。

生協の事業そのものが地域社会

125市町村をカバー23000人が利用し売れ筋商品は、夏はアイスクリーム、冬は仏花で売上の70%は生鮮品となつていて。配食サービスは4万人が登録し週3万食、幼稚園63園の利用がある。人と食をつなぐ輪で食の大切さを楽しく体験しながら学ぶイベント、子ども達の食の現場の仕事体験、地産地消メニューを人気シェフが作る「畑のレストラン」など多くのイベントを開催している。人と未来をつなぐ輪では、未来の森づくりプロジェクトの開催、子育て世代の1歳2歳児に絵本4冊を無料で届けでは6年間で42000人、23万冊配付した。コードバンク事業は宅配の返品商品と取引先企業の商品を全道の児童養護施設に提供しフードロスを無くしている。買い物袋の有料化にいち早く取り組み行政も巻き込む社会運動に発展していく、年間の袋代2億3千万円をカットできた。

づくりで、重要な社会インフラとなっていくことで、宅配、店舗、共済、介護・福祉事業がさらに事業として成長・発展していくことが地域の暮らしを支え豊かにする最大の貢献となる。

協同組合の役割では、生活協同組合とは助け合いの組織である。発祥はイギリスで28人が始めたローツデール公正開拓者組合、日本ではこれよりも20年ほど早く二宮尊徳が金融相互組織「五条講」で仁・義・礼・智・信の道による信

用組合のような仕組みを始めた。協同組合は弱い人を助けるのではなく自立した人が助け合う組織である。

山口講師は、峰延に期待することとして、この地域に住んでいる人たちが住み続けるために付加価値を付けるよう願うと講演を締めました。

|| 職員の退職 ||

馬場崇文(販売企画課)

平成29年2月28日付け

おくやみ申し上げます

戸田正雄さん (83歳) 2月2日
美唄市峰延町本町

JA女性部第66回通常総会終了

2月23日、JAみねのぶ女性部第66回通常総会がJA会議室において、部員20名が出席して開催されました。

豊葦支部の高坂理事が司会進行し、森川組合長、普及センターの竹内所長、峰延農民協議会の池上委員長の来賓挨拶に続いて議長に光北支部の荒井智美さんを選出し議事に入りました。

平成28年度事業経過報告並びに収支決算報告の承認を得て、平成29年度活動方針（案）と事業計画（案）並びに収支予算（案）と部

費の納入について一括上程し原案通り可決されました。

また、任期満了に伴い役員改選が行われ、新しい執行部体制が決まりました。（敬称略）

（一）支部名

部長	吉村俊子	（光北）
副部長	小川真知子	（光中）

理事	矢部亜紀子	（峰延）
	澤田三枝子	（峰延）

監事	安藤早紀子	（光北）
	酒巻洋子	（光北）

理	（光北）
事	（峰延）

の作り方などを質問していました。引き続き、第1回女性セミナーを行い、美唄市高齢福祉課の職員2名を招き、平成28年に受講した「認知症サポーター養成講座」の振り返りとして、改めて認知症の症状や、その後のサポーターの活動事例など説明いただきました。

続いて、美唄市健康推進課保健センターの保健師と運動推進員6名の指導でビーム体操を行いました。脳トレをしながら体を動かしたり、正しい姿勢で筋肉をつける運動やストレッチなどをして体を動かしました。この日は、午前の総会と生活作品展、午後の女性部セミナーを開催しほぼ一日がかり行事日程となりました。

コーポさつぼろ 移動販売車で買い物

滞在して商品販売を行いました。

移動販売車は、大型冷蔵庫を備えた2トントラックで、車内には鮮魚、精肉、野菜、菓物、惣菜、食品、飲料、日用品など約1000品目が取り揃えられていて、大勢の方にご利用いただきました。



休業中の生活店舗に代わって活躍しました

北海道米の道内食率87%（暫定値）
前年度より1ポイント下がる

金融店舗の1階移設工事並びに生活店舗の改修工事の期間（2月5日から28日）は生活店舗を一時休業し、日頃からご利用いただいている皆さまには大変ご不便をおかけしました。

店舗の一時休業の20日間は、毎週1回月曜日に店舗運営提携先の「おまかせ便カケル」が当JA駐車場に

内食率（道内の米消費量に占める北海道米の割合）が前年度より1ポイント下がり87%（暫定値）となったと発表しました。前年度実

績を下回るのは3年連続ですが、北海道が目標としている85%は5年続けて上回っています。

28米穀年度は主に27年産米の消費期間で、道農政部によると道内消費量は前年度比1・6%減の31万4213tで、うち府県産米は4・6%増の4万188t、道産米は2・5%減の27万4025tでした。

道農政部は、道産米人気による需要増で価格が上がり道産米より高い府県産米との価格差がなくなり優位性が小さくなつたことが要因の一つとみています。

トランプ政権が TPP離脱表明

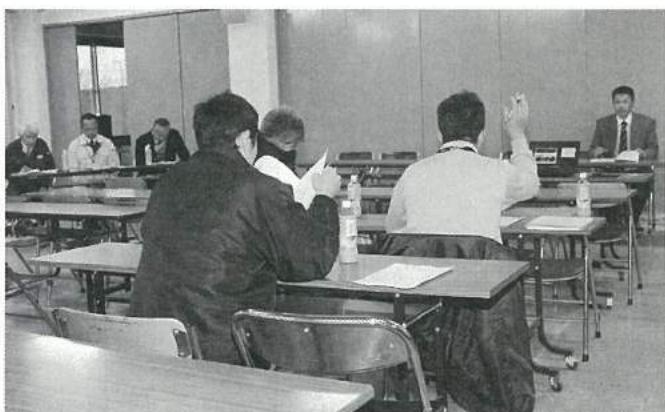
本年1月20日にアメリカ合衆国第45代大統領に就任したトランプ大統領が、1月23日、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）から離脱する大統領令に署名しました。TPPの発効にはアメリカの承認が欠かせず、TPP協定は発効のめどが立たなくなりました。トランプ大統領が署名した大統領令にはTPP交渉から永久に離脱

することを指示すると記されています。

TPPが発効するためには、加盟12カ国のGDP（国内総生産）の85%以上を占める少なくとも6カ国以上が国内手続きを終える必要があります。アメリカが全体のGDPの約60%を占めるため、トランプ新政権がTPPから離脱を決定したことで、発効は不可能となりました。

香りの畦みちハーブ米 生産部会総会開催

2月21日、JA三階会議室で香りの畦みちハーブ米生産部会の総



総会の様子

会が開催されました。

平成28年度事業報告、平成29年度事業計画案が原案通り承認されました。

栽培基準のイエスクリーの肥料選定及び薬剤統一基準が原案通り承認されました。

総会終了後は、空知農業改良普及センターの田村光彦専門普及指導員から平成28年産水稻の作況と低タンパク米について講習会があり、参加者は熱心に聞き入っていました。

任期満了で役員改選があり、次の方々が選任されました。（敬称略）

副部会長	石川 弘樹
役員	中村 呂仁
役員	野善徳
役員	宮田 昌治
役員	沼田 樹

28年産米食味ランキング発表 道産米の3品種銘柄は今年も特A

日本穀物検定協会は2月23日に平成28年産米の食味ランディングを発表しました。炊飯した白飯を実際に試食して評価する食味官能試験に基づき評価するもので、専門の評価員20人が外観、香り、味、粘り、硬さ、総合評価の6項目について5段階で評価します。食味試験のランクは、複数産地コシヒ

カリのブレンド米を基準米として、これと試験対象産地品種と比較し概ね同等のものを「A」、基準米よりも特に良好なものを「特A」、良好なものを「B」、劣るものを「B」と分けを行います。

28年産米は44道府県の141产地品種銘柄が評価を受け、27年産米より2銘柄多く過去最多となりました。特Aは44点（27年産46点）、Aは79点（27年産60点）、BとBは全年産同様にありませんでした。全体に占める特Aの割合は31%で前年比2%減りました。特A評価の銘柄数は昨年とほぼ同数ですが、産地では多くの新品种が誕生し顔ぶれは入れ替わっています。

北海道米は、「ゆめぴりか」が6年連続、「ななつぼし」が7年連続で特Aの評価、「ふつくりんこ」は参考品種の26年産から3年連続で特Aの評価を受けました。

北海道米3ブランドが安定して最高評価の特A評価を受けています。「きらら397」は前年産米と同じく上から2番目のAでした。

 JA銀行をご利用のお客さまへ

ATMなどのサービスを 一時休止させていただきます。

いつもJA銀行をご利用いただきありがとうございます。

このたびJA銀行の全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながら
ATM・JAネット銀行等のサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成29年
(2017)

3月18日(土)

5月 4日(木祝) / 20日(土)

9月16日(土)・17日(日)

平成30年
(2018)

1月 6日(土)・7日(日)・8日(月祝)

休止させていただくサービス



JA銀行のATM

JA銀行のATMを利用した、入金や出金、残高照会、振込・振替など、すべてのサービス



JAネット銀行サービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用した、残高照会や振込・振替など、すべてのサービス



コンビニ等のATM

JAキャッシュカードによるセブン銀行、ゆうちょ銀行、その他提携金融機関やコンビニ等のATMを利用したすべてのサービス



デビットカードサービス

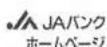
デビットカード機能がついたJAキャッシュカードによるJ-Debit加盟店での代金決済



現金のお引き出しはお早めに

休止期間中は現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しあていただく等のご準備をお願い申しあげます。

*JA店舗・ATM・提携金融機関によっては、ご利用可能日、ご利用可能時間およびご利用可能サービスが異なるため、上記スケジュール以外にもサービスをご利用いただけない場合がございます。詳しくは、JA窓口・ホームページ等でご確認ください。

 JA銀行
ホームページ

<http://www.jabank.org/>

 JA銀行北海道

JAグループ通信

No.8

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
 JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、
 組合員の皆様に定期的にお伝えします。
 各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



「北海道農業が日本の食を支えていることを知り、道民として誇りを持った」「JAグループが農畜産物の安定供給だけでなく、インフラ提供等様々な役割を果たしていると知ることができた」等の感想をいただき、北海道農業・JAへの理解を深めもらうことができました。

今後も「サポートアーバン50万人づくり」に向けた情報発信を進めて参ります。

平成29年1月、北海学園大学経済学部と北海道大学農学部において、学生向け授業の一環として「北海道農業の概要と、それを支えるJAグループの役割」について講義を行いました。

JA北海道中央会



JA北海道信連



ホクレン



J A バンク北海道では、地域貢献活動の一環として、AEDの寄贈を平成21年度より実施しており、今年度は、JR各駅に7台、大空町社会福祉協議会に1台の計8台を寄贈しました。

累計寄贈数は、今年度分を含めて、43台先65台となり、救命活動や救命講習等に活用されています。



写真:JR滝川駅 JAたしかわより贈呈↑

JA共済連北海道



「第68回さっぽろ雪まつり」において、平成28年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品64点を展示しました。

260万人を超える来場者数となつた「さっぽろ雪まつり」で、JA共済連北海道の活動と交通安全への思いを知つていただくことができました。

今後も道内ののみならず、全国や海外からの観光客の方々にも交通安全の大切さを伝え、事故防止に繋げていきます。



JA北海道厚生連



【旭川厚生病院で「土曜ドック」を!】

旭川厚生病院では、男性の方を対象として、隔週土曜日に入間ドックを実施しています。午前中に全ての検査が終了し、検査結果は受診日から1週間ほどでお届けします。前立腺がんや肺ドックなどのオプション検査も可能です。

随時予約を受け付けておりますのでお電話でお問い合わせください。

※完全予約制

(内) 2146・2198
(TEL) 0166-33-7171